

富山大学学術研究部社会科学系（経済学部）
経済学（環境経済学もしくは国際経済学） 教員公募

1. 部局名 学術研究部社会科学系
(経済学部経済経営学科)
2. 職名および人員 教授（任期 10 年，再任可） 1 名
3. 専門分野 経済学（環境経済学もしくは国際経済学）

主な担当授業科目

学部担当授業科目

- ・ 専門授業科目：環境経済学系科目 - A・B
もしくは国際経済学系科目 - A・B
経済学入門（オムニバス形式）など
- ・ ゼミナール科目
- ・ その他授業科目：教養教育科目

大学院担当授業科目

- ・ 専門授業科目：環境経済学系特論 I・II
もしくは国際経済学系特論 I・II
環境経済学系演習 I・II，
もしくは国際経済学系演習 I・II
課題研究等

なお，カーボンニュートラル産業創生研究センターと兼務となるため，センターに関する以下のような研究業務を担当する場合があります。

- ・ 社会経済学的課題等解決におけるデータ収集
- ・ アルミリサイクルを中心とした循環経済の研究
- ・ アルミリサイクル事業等についての経済効果計測・分析

※この他，関連する科目をご担当いただく場合があります。

4. 応募資格
- ①修士（専門職学位含む）以上の学位を有する方。
 - ②大学等高等教育機関における教育・研究歴又は民間企業等における業務歴が，7年以上あること。
 - ③大学院修士課程における教育・研究指導が担当できること。
 - ④環境を考慮した国際マクロモデルの分析ができることが望ましい。
 - ⑤CO₂の削減量推計や炭素価格等に関するなど具体的な経済分析の論文やレポートを作成した経験を有することが望ましい。
 - ⑥科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること。

- ⑦地域貢献活動等，全学的活動に積極的に寄与できること。
- ⑧日本語での授業が可能な方。英語での授業が可能であると望ましい。
- ⑨入試の作問，点検等に寄与できること。
- ⑩教養教育に貢献できること。

5. 採用年月日 令和7年1月1日以降のできるだけ早い日
6. 応募締切日 令和6年11月29日（金）17時必着
※応募状況によっては，応募締切日を延長する場合があります。
7. 応募書類
- ①履歴書（所定様式。写真貼付，学会等の活動について記載すること。また入試委員の経験の有無についても記載すること）
 - ②著書，論文等の別刷り（コピー可）。提出のない研究業績は審査しません。公刊予定の研究業績については，編集者等による原稿提出済み証明書（様式自由）を付すこと。証明書のない研究業績は審査しません。
 - ③研究業績目録（様式自由。「学術論文・査読付」，「学術論文・査読無」の順にすべての研究業績を記載し，各業績について400字程度の要旨を付け，また，主要業績3点について，タイトルの冒頭に○印を付すこと。原著論文について，応募者が「責任著者」である場合は，氏名の右に「（*責任著者）」と記載すること）
 - ④外部資金獲得状況一覧（科研費と科研費以外に分け，所定の様式に過去10年間の実績を記載し提出すること。実績がない場合はその旨記載し提出すること）
 - ⑤教育実績書（様式自由。実績のある方のみ）
 - ⑥最終学校の修了（見込）証明書，単位取得（見込）証明書または卒業証明書
8. 選考方法 応募書類による審査および面接
（面接は，非対面形式により実施する可能性があります）
9. 応募先 〒930-8555 富山市五福 3190 経済学部事務室
国立大学法人富山大学学術研究部社会科学系長（経済学部長）
※ 封筒の表に「経済学・教授応募書類在中」と朱書きの上，書留郵便とすること。応募書類は原則として返却しません。
10. 問い合わせ先 ①公募について
国立大学法人富山大学人社系総務課（経済学部事務室）
TEL 076-445-6401 E-mail ecosoumu@adm.u-toyama.ac.jp

②給与等について

国立大学法人富山大学総務部人事課

TEL 076-445-6524

※ 問い合わせに際しては、「経済学・教授」に関する旨を明らかにしてください。

11. 備考

- ①提出書類の追加送付は原則として認めません。
- ②面接に要する経費（旅費，宿泊費，通信費等）は支給しません。
- ③提出いただいた書類に含まれる個人情報，選考および採用以外の目的には使用いたしません。
- ④国立大学法人富山大学職員就業規則により定年は65歳です。
- ⑤国立大学法人富山大学では，年俸制（退職時に退職手当を支給する年俸制）を導入しており，本公募による採用者も年俸制を適用します。

○富山大学では，多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

富山大学ダイバーシティ推進宣言に基づき，全学的に女性研究者を含め多様な人材が活躍できるよう，教育・研究活動と生活の両立支援，男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいます。

男女共同参画推進やダイバーシティの取り組みは以下 URL をご覧ください。

[ダイバーシティ推進センター] <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

[富山大学ダイバーシティ推進宣言]

<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/other-info/gender-equal/>

○若手研究者の積極的な応募を歓迎します。